

熊本県高森町 「新たな学び」研究発表会

【第2次案内】

期日 令和元年 **10月25日（金）**

会場 高森中学校・高森中央小学校

Society5.0に対応した資質・能力の育成
～主体的・対話的で深い学びを促す学習指導の工夫～

日程

小学校・中学校合わせて13本の公開授業

8:30	9:20	10:10	10:20	11:10	11:20	11:50	13:10	15:05	16:15	16:20
受付	オリエンテーション 研究概要	公開授業①	休憩	公開授業②	休憩	授業研究会	種別発表 開会 基調講演 授業報告	全体会 パネル討論 総会		
		高森中央小学校 高森中学校						高森中学校		

全体会

先着順で300名〆切



文部科学省
初等中等教育局
情報教育・外国語教育課長
高谷 浩樹氏



東京工業大学
名誉教授
清水 康敬氏



宮崎大学
理事・副学長
新地 辰朗氏



東北大学大学院
教授
堀田 龍也氏



鹿児島大学大学院
准教授
山本 朋弘氏

豪華有識者「夢」の共演！教育の「今」を語り合います！

教育行政関係者も参加し、新たな学びを構築していきます

主催：熊本県高森町教育委員会・熊本県高森町教育研究会

共催：日本教育工学会SIG・九州教育情報化研究会

後援：熊本県教育委員会・日本教育工学協会（JAET）



申込はコチラ

8 : 30 ~

受付（各公開授業校にて）・オリエンテーション

9 : 20 ~ 11 : 50

高森中央小学校会場 公開授業・授業分科会

	番号	学年・教科	授業者	単元・題材名	分科会
公開授業 1	小①	4年・国語	小林 翼	「調べたことを整理して書こう」 新聞づくりのコツを専門家から学ぶ	情報活用・遠隔
	小②	5年・英語	斗高 真美 早瀬 裕 (南小国町：中原小)	「Unit6 I want to go to Italy.」 コミュニケーション力の育成を図る遠隔授業	情報活用・遠隔
	小③	5年・算数	川崎 留美 池田 恭次	「速さ」 速さの意味をプログラミングで考える	プログラミング
	小④	6年・音楽	城井 順一	「リズムをつくってアンサンブル」 Scratchでリズムをつくる	プログラミング
公開授業 2	小⑤	3年・算数	丸野 公士	「まるい形を調べよう」 アンブラグドを用いたプログラミング授業	プログラミング
	小⑥	5年・社会	福島 健太 西本 稔 (南小国町：市原小)	「情報化した社会と私たちの生活」 多様な視点で課題を追求する遠隔授業	情報活用・遠隔
	小⑦	6年・総合	市原 福太郎	「情報に関する探究的な学習」 MESHを活かした地域産業活性化プランづくり	プログラミング

高森中学校会場 公開授業・授業分科会

	番号	学年教科	授業者	単元・題材名	分科会
公開授業 1	中①	1年・社会	芹口 真由美	「世界に大きな影響を持つ北アメリカ」 タブレット端末持ち帰りによる授業設計	国語・社会
	中②	2年・技術	猿渡 裕幸	「プログラムによる計測・制御」 双方向性のあるコンテンツによる問題解決	音楽・技術
	中③	3年・理科	山代 浩二 吉田 沙也加	「地球の明るい未来のために」 調べ学習のツールとしての外部専門家活用	理科・英語
公開授業 2	中④	1年・英語	溜池 江三子 高宮 千尋 (南小国町：南小国中)	「Unit7 part1」 英語で表現し、伝え合う力の育成を目指す遠隔授業	理科・英語
	中⑤	2年・国語	脇田 慎也	「君は「最後の晩餐」を知っているか」 タブレット端末を活用した読解力、思考力育成	国語・社会
	中⑥	3年・音楽	早川 真二	「合唱のよろこび」 音楽に対する感性を働かせた生徒主体の合唱づくり	音楽・技術

11 : 50 ~ 13 : 10 昼食・展示（高森中央小会場から高森中学校会場へ移動）

13 : 10 ~ 16 : 20 全体会（会場 高森中学校）

●講演「教育の情報化の動向」（仮）

文部科学省 初等中等教育局 情報教育・外国語教育課長 高谷浩樹氏

●授業報告

(中学校) 宮崎大学 新地辰朗 理事・副学長 (小学校) 鹿児島大学大学院 山本朋弘 准教授
(進行) 東北大学大学院 堀田龍也 教授

●パネル討論「高森から新たな教育の風を興す」

「情報教育・プログラミング教育」 東北大学大学院 堀田龍也 教授
「小中高から大学につなぐ学び」 宮崎大学 新地辰朗 理事
「熊本の学びとICT活用」 熊本県教育庁教育指導局義務教育課 鈴嶋聖一 審議員
「ICTを活用した高森の学び」 高森町教育委員会 古庄泰則 審議員
(進行) 鹿児島大学大学院 山本朋弘 准教授
(総括) 東京工業大学 清水康敬 名誉教授

研究の構想

確かな学力と豊かな心を身につけた高森の子どもの育成

研究主題

Society5.0に対応した資質・能力の育成 ～主体的・対話的で深い学びを促す学習指導の工夫～

* Society5.0とは・・・ **Society1.0**「狩猟社会」→ **Society2.0**「農耕社会」→ **Society3.0**「工業社会」→ **Society4.0**「情報社会」に続く、人類史上5番目の新しい社会 **Society5.0**。第4次産業革命によって、新しい価値やサービスが次々と創出され、人々に豊かさをもたらすことが想定されてる。（政府が提唱）

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

学習の基盤となる資質・能力

言語能力

語彙の確実な習得、意見と根拠、具体と抽象を押さえて考えるなど情報を正確に理解し適切に表現する力

情報活用能力

学習活動において必要に応じてコンピュータ等の情報手段を適切に用いて情報を得たり、情報を整理・比較したり、得られた情報をわかりやすく発信・伝達したり、必要に応じて保存・共有したりといったことができる力

視点1

単元を見通した課題の設定

- ◆ 児童生徒の問いを生かした課題の設定
- ◆ 多様な考えにつながる課題の設定
- ◆ 教科横断的な授業展開を想定した課題の設定
- ◆ 学びを伝え、広げる発信型課題の設定

視点2

主体的・対話的で深い学びの実現

- ◆ 見方・考え方を働かせる学びの展開
- ◆ 児童生徒同士の学び合いの場の設定
(ガイド学習の推進)
- ◆ 試行錯誤を促すICT活用
- ◆ 主体的なコンテンツの選択・活用

視点3

情報教育・プログラミング教育の推進

- ◆ 教科等のねらいを達成する
カリキュラム・マネジメント
- ◆ 対話の中で醸成される
プログラミング的思考の育成
- ◆ 専門機関と連携したプログラミング教育

視点4

教室の枠を超えた学びの場と機会の拡大

- ◆ 専門機関と連携した遠隔授業
- ◆ 多様な考え方を引き出す遠隔授業
- ◆ 教室と家庭をつなぐタブレット端末の活用

課題解決型学習の共通実践スタイル「**たかもり**学習」

たしかにつかむ
導入
教材との出会い
課題把握

かんがえる
展開 前段
一人学び
個人思考

もつとふかめる
展開 後段
協働的な学び
集団思考

ふりかえる
終末
理解・定着
次時への発展

参加対象

教職員・教育委員会・研究者・学生・企業・情報に関する行政担当者

参加費用

無料

企業展示

最新ICTハード・ソフトウェア教材が結集
24社が最新情報を提供

授業の見所

- ・教育の情報化の中で主体的・対話的で深い学びを実現した課題解決型授業
- ・新たな学びとして、英語教育、プログラミング教育、遠隔教育など
- ・新学習指導要領に対応した学びの展開

子どもたちの姿をお見逃しなく！



詳細な情報は特設HPへ
随時更新していきます

参加申込

申込開始予定日 9月9日から

●参加申込み用2次元バーコード（QRコード）から

●メールでの申込の場合

furushou-y@town.kumamoto-takamori.lg.jp 高森町教育委員会 古庄泰則宛

※件名は参加申込、本文には参加者氏名と所属名及びメールアドレス
授業希望を書いて送付してください。



申し込みQRコード

会場へのアクセス

★公共交通機関でお越しの場合

- 熊本空港→（快速たかもり号）→「高森中央」→徒歩
- JR熊本駅→（快速たかもり号）→「高森中央」→徒歩
- JR大津駅→（快速南郷ライナー）→「高森中央」→徒歩
（南阿蘇ゆるっとバス）



宿泊関連情報



交通関連情報

★車でお越しの場合

- 県道28号線西原村から俵山トンネルを通過して南阿蘇村へ
→あそ望の郷くぎのを通過後、久石交差点を左折し県道39号線へ
→国道325号線を右折し、高森町方面へ
- 大津町より国道57号線を通り、長陽方面へ
→長陽大橋を通過後、国道325号線を高森町方面へ

